

平成26年度調査報告書

「経済連携協定外国人看護師における国家試験合格後の問題」

そのⅡ：国家試験合格者の課題

目次

I 調査の概要	p2
1. 調査の目的	
2. 調査の対象	
3. 調査の時期および方法	
4. 回答の状況	
5. 倫理的配慮	
II 調査の結果	
1. EPA 看護師候補者として来日した目的	p3
2. 看護師として	
- 1 現在どの部門（科）で働いていますか。どんな仕事をしていますか。	p3
- 2 他に働いてみたい部門（科）がありますか。	p4
3. 国家試験合格後、幸せ（嬉しい）と感じていること	p5
4. 国家試験合格後、困難（辛い）と感じていること	p7
5. 日本語について	
- 1 国家試験合格後どのような方法で、何時間、日本語の勉強をしていますか	p9
- 2 「話す」、「読む」、「聞く」、「書く」のうちどの能力をもっと向上させたいですか	p11
6. 将来の目標（夢）	p12
7. 日本や日本人について	
- 1 好き、気に入っていること	p13
- 2 嫌い、改善して欲しいこと	p15
- 3 あと何年日本で看護師として働く予定ですか	p16
8. その他のコメント	p17
III 調査総評	p17
IV 謝辞	p18

平成27年6月30日

NPO 法人外国人看護師・介護福祉士教育支援組織

調査責任者 青野淳子

I 調査の概要

1. 調査の目的

経済連携協定（EPA）に基づき来日した看護師候補者のうち国家試験合格者（EPA 看護師）について、合格者の側から合格後の課題を明らかにする。

2. 調査の対象

第100回から第103回の看護師国家試験に合格した EPA 看護師のうち帰国者、転院先不明などを除く合計98名である。

3. 調査の時期及び方法

平成26年10月初旬に調査対象者の受け入れ施設（62施設）に郵便にて調査票を送付し、施設より郵送にて回答（無記名）を受領した。回答は平成26年10月中旬から12月下旬までに受領した。

4. 回答の状況

調査対象者95名のうち回答者は40名であったが、1名（102回合格者）の手書きの回答を解読できず無効とした。よって有効回答数は39名である。

有効回答者の合格年月（合格回）と出身国を表1に示した。

表1 有効回答者の合格年月（合格回）と出身国

合格年月（合格回）	対象者数	有効回答者数 （有効回答率）	インドネシア人	フィリピン人
2011年3月（第100回）	9	5（55.6%）	5（M4, F1）	0（M0, F0）
2012年3月（第101回）	34	19（55.9%）	11（M3, F8）	8（M2, F6）
2013年3月（第102回）	24	5（20.8）	3（M1, F2）	2（M0, F2）
2014年3月（第103回）	28	10（35.7%）	5（M0, F5）	5（M0, F5）
合計	95	39（41.0%）	24	15

回答に使用された言語はインドネシア語（14名）、英語（20名）、日本語（5名）であった。

日本語への翻訳はインドネシア語は矢部幸雄氏、英語は樋口聰美氏、祝田剛夫氏及び青野淳子が担当した。

5. 倫理的配慮

本研究は当法人倫理委員会の承認を得て実施した（承2013002号）。

II 調査の結果

回答は母国語（インドネシア語、英語）で記述するようお願いしたが、すでに述べたように、使用された言語はインドネシア語（14名）、英語（20名）、日本語（5名）であった。インドネシア語と英語は日本語に翻訳して以下に示す。同一の回答については重複して示さず（ ）内に同一回答者の人数を示した。また、インドネシア人とフィリピン人に分けて示す。

問1 EPA 看護師候補者として来日した目的を教えてください。

（インドネシア人）

- ・新しい経験を求めて、というのは日本は高度で最新の技術力が有名です
- ・外国で働きたかったから（2名）
- ・看護経験を増やし技術を向上させたかった

（フィリピン人）

- ・新しい経験をしたかった
- ・看護技術を上達させ日本語を学ぶため
- ・アニメが好きだから、高齢者の世話をしたい、日本の文化に興味があった
- ・日本で働き勉強し生活したかった（2名）

問2 看護師として

問2-1 現在のどの部門（科）で働いていますか。どんな仕事をしていますか

（インドネシア人）

- ・神経科病棟
- ・術後の脳消化器患者の病棟で看護スタッフとして働いています。
- ・血圧測定、大小便の世話、食事介助、看護計画など病棟のチームメンバーとして働いています
- ・病棟で働いています、仕事は他の看護師と同じです。
- ・手術室で産婦人科の手術の外回りの看護師として働いています
- ・胃腸科、肝臓病科（内科）チームの一員として責任をもって患者の要求すべてを世話する、血圧や脈拍の測定、採血、注射、点滴、輸血、CT、アンギオの患者の準備など
- ・内科、プライマリナーズ、チームリーダーとして働いている
- ・透析室、患者さんの情報収集、体重測定、針を刺す、患者観察、投薬、注射、血圧、脈、心電図のチェック、透析機器の準備など（2名）
- ・内視鏡室で働いています。午前中は上部消化管、午後は大腸ファイバー、他に ESD、EIS です
- ・外来で内科・小児科・乳腺外科で働いています
- ・外科で看護師業務
- ・リハビリ専門病院、リハビリ病棟（2名）
- ・循環器内科病棟です。患者さんを担当したりしています

- ・日本人看護師と同じように働いている。ベッドメイキング、バイタルサイン、注射、モニタリング、シャワーなど
- ・手術室で消毒や滅菌（中材）、手術のアシスタント、救急集中室など（2名）
- ・整形外科病棟で働いている。骨折などの整形外科的問題を持つ患者の観察と世話。
- ・整形外科で働いており、看護師として働いていますがチームリーダーの仕事はまだやってない
- ・IC、血圧測定、検温や患者の入浴介助、投薬
- ・混合病棟で働いています。日本語がまだ上手じゃないから、病状説明、退院支援、合同カンファレンスなど、参加する事が出来ません。その以外に全てしています。

（フィリピン人）

- ・手術室。看護師の仕事を楽しんでいるがまだ学ぶべきことがたくさんある
- ・リハビリテーション棟 患者13～15名担当 バイタルサインの測定、訴えを聞く、診察、検査などをリハビリテーションのスタッフやケア・マネージャーと協力して行う
- ・回復期病棟で他の医療スタッフ OT、PT、ST とともに働いている。幸せな病院生活をめざして患者のリハビリテーションのために
- ・回復病棟で働いている。医師の指示を実行する。看護師の記録、患者の世話、投薬。
- ・リハビリ病棟
- ・精神科病棟
- ・手術室 手術室看護師として働いている：手術援助の手洗い看護師として
- ・手術室 看護師として種々の手術のサポートを割り当てられている
- ・手術室 通常看護師、手洗い看護師として働いている、循環系、大小症例での主看護師
- ・手術室で約3年間働いている。仕事は手術時手洗い看護師、循環系の看護師として医師の援助をすること
- ・施設 患者のバイタルサイン、患者の状態に応じた必要性を見つけること
- ・血液透析センター
- ・外科 看護師業務
- ・内科、臨床看護師としてバイタルサイン測定、投薬などの基本的な看護業務を行っている
- ・働いている病院はリハビリテーションの病院で特別な部門はない、すべて同じ部門である
- ・病棟、医師の指示を実行、投薬、ベッドサイドケア

問2-2 ほかに働いてみたい部門（科）がありますか。

（インドネシア人）

- ・仕事が精いっぱいできるならどの部でも
- ・透析病棟
- ・どんな部門でもやってみたい、でも他の部門で働くことに躊躇があることも事実です、まず第一に透析室での仕事をもっと究めたい。
- ・部門が変わることは今はまだ考えていません。私の目標は内視鏡の免許取得なので、その勉強をしています

- ・ICU、救急、手術（2名）
- ・手術室
- ・オペ室、外科病棟
- ・急性患者が少ない部門の方がいい。問題は自信がありませんので指定できません、でも消化器病棟で働いてみたいです
- ・病院による。が私は知識を向上させたい。
- ・なし、今は考えていない（9名）

（フィリピン人）

- ・今の病棟で満足している。もし機会があるならば手術室や整形外科部門
- ・婦人科、内科、小児科
- ・透析
- ・ICU か心臓病棟
- ・救急部門、機会があったなら
- ・救急室
- ・外科
- ・息子がいるので夜間勤務のないほうが良い。血液透析センターでは夜間勤務がない
- ・ある
- ・ない、今はない（5名）

問3 看護師として幸せ（うれしい）と感じていることを教えてください。

（インドネシア人）

- ・病院の医療チームの一員として仕事ができること、具体的には①患者が回復するのを感じることに、②患者や家族と良いコミュニケーションが取れること、③病院の内外での研修への参加で看護と医学の知識を増やし最新の知識が得られること
- ・看護師として働いて感じることは、生命に直結していて緊張の連続ですが、患者様の笑顔が見られた瞬間や「ありがとう」の言葉が聞けたときは感動でいっぱいになり、看護師の道へ進んで良かったと思います
- ・患者さんによりそえること
- ・患者さんやご家族が私の仕事に満足してくれたとき
- ・ここで看護師として2年目、素晴らしい時は患者と会話できたとき、患者やその家族と笑いあったり、心に感じる話をするとき。いつもそういうことが起こるわけではないがそういうことがあると信じられないような感じがあり、私に何故看護師であることを愛するのかを思い起させる
- ・看護師として患者に必要とされるものを与えることができるのは喜びです、①私の行った看護に対して満足し感謝の意を表してくれるのは非常な喜びです、②日本で看護師になれたことが嬉しい、③最新の看護学、看護術を患者さんに実際に使えること。
- ・自分の存在と能力が必要とされ、休みの日でも呼ばれること。患者が入院してから退院するまで仕事上の間違いなしに看護でき、患者が満足してくれた時。自分の仕事が終わり同僚の仕事の手伝い

をすること。

- すべてのスタッフが患者さんの為に協力し合っている、新人看護師達に対する指導がとても素晴らしい、患者を看護するのに必要な設備が非常に整っている
- 私を評価し、信頼している。他の日本人看護師と同様に教育してくれる
- 私の日本語がまだ十分でなくても看護師仲間やドクターは理解しようとしてくれ、励ましてくれる
- 私にとっては、日本でもインドネシアでも仕事としての経験は同じだと思う、違いがあるのは①給料：日本の給料はインドネシアの6倍、②仕事の責任を考慮してインドネシアより評価が高い、③患者に対する看護師としての教育は本当によく出来ている、看護師と患者のコミュニケーションもより緊密になっている。
- 新しい経験を積めること。貯金が出る給料。
- 日本人の看護師が仕事が早いし丁寧だし、それを見て自分が前より仕事が少し早くなって丁寧になってきた気がする
- 日本で進歩する衛生、看護学や技術の中で、そのなかに共にいて、経験を積めること、患者が回復して笑顔を見せるのを見ること、外国人看護師として患者に快く受け入れてもらえること
- インドネシアで経験できないことを仕事としてできることまた知識を向上できること
- 日本人と一緒に仕事をすると親しみがあり親切で、お願いすると何ごとでもいつも助けてくれる、患者に対するケアはとても高い、常に新しい知識があり、職場ですぐに活用する
- 自国のように看護師として働くことができること。最初の仕事が看護師だから
- インドネシア人でない患者を世話できること。彼らは私を支えてくれるので私を幸せにしてくれる

- 日本に来る前は手術室で働いており、現在も手術室で働いています。ということで今の仕事が好きです。
- リハビリ棟は初めてなのでいい経験です
- 正直整形外科にはあまり興味がなかった、というのは大変難しいと思ったから、最初は衝撃的だったが整形外科の患者をどのようにケアするか理解でき幸せだ、そのうえ整形外科の症例について再び勉強したので知識も向上した。

- 実際嬉しいと思うことはないが将来役に立つと思う。が仕事の中で何が役立つかわかっていない、私は自分の仕事をするだけ。仕事は仕事
- 今は特にないです、一日の仕事が順調であれば幸せです

(フィリピン人)

- 新しい経験、良い国と人々、高度な技術と設備、良い給料
- 日本語が面白い
- 日本人の看護師に質問せずにもた助けを当てにせずにも仕事をできたと感じたり 理解できること、自分自身で仕事できること、病院の人々の私に対する評価が良いこと
- 日本人の患者と話をし、患者の気持ちを理解し彼らの笑顔を見ること、同僚とともにチームワーク良く働くこと

- ・職場は人々は友好的、患者は優しいのでとても幸せである、彼らとともに働き同じ医療グループに属していることは名誉なことである、私の看護師長は親切で助けてくれる、特に、しなければならぬペーパーワークを助けてくれる
- ・日本で手術室の看護師として仕事をし看護の経歴が成長すること、技術がフィリピンよりはるかに進んでいる、フィリピンでは見られない手術を見、援助する機会があること
- ・日本で看護師として働き始めてから日本の文化や信条の多くを知り得た、日本の生活がどのようなものであるかも知った。日本人のスタッフと働くことができるのは幸せである、いつもそれは私にとって重大な忘れられない経験となるだろう
- ・①日本はフィリピンで扱ったことのない高度な技術、装置を用いていること、②よい俸給、恩恵
- ・日本に来た時は日本でどのように看護師になっていくのかわからなかったが、時が経つにつれ年配者と働くことが立派な仕事なのだとわかってきた。日ごとに彼らと話し、世話をし、私は達成感を感じ自分の人生も充実している。
- ・①挑戦すること、②世話をすることを学んだこと、③世界の他の文化や側面を学べたこと、④世話をし患者の人生にふれたこと、⑤患者もまた私の人生を知ってくれたこと、⑥多くの看護技術を学んだこと
- ・ここ日本で看護師として多くのことを学んだ。フィリピンではベッドサイドの世話はあまりしなかったため、フィリピンではいつも患者を見ている家族がいる、日本では患者の世話をする看護師がいつもいる、ストレスと圧力のために幸せな経験はなかったかもしれなかったが、経験は学ぶべき貴重で価値のあるものである。
- ・病院の進んだ医療設備、技術から多くを学んだ、日本での生活費は大変高いけれども給料はフィリピンの看護師の給料と比較して高い、そして自信をもって手洗いと循環系の主看護師両方の手術室の看護師として役割を果たすことができる。
- ・外国で働くことや新しい言語を学ぶことは非常に価値のあることだし幸せな経験であると思う、また私が故郷から遠い地で生活する強さと他を頼らないということを教えられたと信じている
- ・同僚が私を助けてくれること、また彼らから多くを学んだこと。
- ・①日本語の新しい語彙を学ぶこと、②看護ケアを提供し、患者さんと話すこと、③他のスタッフとともに働き、彼らとおしゃべりすること。
- ・患者さんに寄り添えること

問4 看護師として困難（つらい）と感じていることを教えてください。

（インドネシア人）

- ・患者やドクターとの電話での日本語のコミュニケーション、看護師の人数が少ないので患者の看護が多忙を極めていて間違いの元になっている
- ・患者との間に使う日本語会話の能力が充分でないため、患者との会話に限界があり100%信頼して貰えず、しばしば礼儀正しくないとと思われる。文化の差が、物の見方や考え方の差の基になっている
- ・言葉が充分でないため、患者さんへのミスが起こるのが怖い
- ・日本で看護師として仕事や日常生活をしてゆく上で困難が沢山あるのは確かです、まず第一に言葉

と日本文化に対する適応です、日本語が充分でなければ患者さんのニーズを把握するのも困難だし看護も充分にできない

- ・時々日本語が分らない時がある、働く部署により目標に達せない、新しい技術や学説に対して日本人看護師と同じレベルで理解すること、一緒に討論やセミナーや勉強をする時、意見の言えないこと
- ・最も大きな問題はコミュニケーションです、今まで日本語の医学用語たまにしか聞かないような日常用語、電話の会話、医師の指示などで理解出来ない時は他のスタッフの助けを必要とするか、仕事を変わってもらいます。正直に言えば私はまだ一人で仕事が出来ないということです
- ・当日の患者が把握できない時、日本語がわからない時（患者やスタッフや医師と会話する時、1日の仕事が順調でない時）
- ・日本語は難しい、文法、語彙など、日本語を話したり使うことはできるのだが患者に何か話したり説明するのが難しい、たぶんすべてうまくいき患者に理解させる日本人のようにではないができているのだろう
- ・日本語が充分でないので同僚や患者とのコミュニケーションが充分でない。
- ・日本語の壁があるから、最適に日本の看護師の仕事することができないと思っている
- ・日本語は難しいので学び理解するのに時間がかかる。
- ・日本語の能力が充分でない（4名）

- ・①一番困ることは、宗教的なことです、冬になると夕方の礼拝時間が短くなります。仕事が終わる前に礼拝の時間がなくなります。忙しい時と夜勤時も時々れいはいができなくなりました
- ② 日本語の壁もまだあります、ドクターに報告する時と急変時の対応の時にすごく困ります、
- ③ 病棟の勉強会当番です、今は家族と住んでいるので（子供2人）勉強会の準備はすごく大変です、時間がかかるし日本語の壁もあります

・どんな仕事でも信頼関係が大切だと思う、もし信頼がない時あなたは何をするか、他を信じられない人はいつも不思議に思ったり心配したり、何か悪いことが起こるのではないかと思う、私が意味したことと違う意に受け取られるというようなミスコミュニケーションが嫌である

- ・日本人の看護師と同様に育ててくれるので時々学び理解する努力が2倍必要となる、何故ならともかくも私はまだ勉強中の外国人なのだ、が、私はそれが好きだ
- ・長い休暇をとるのが難しい

- ・患者さんがお亡くなりになること
- ・今のところありません
- ・特にないです、日本語は難しいですけど頑張ります
- ・記載なし

(フィリピン人)

- ・日本語でのコミュニケーション、漢字
- ・①日本語、②日本で仕事や環境に対していかに適応するかを後輩の EPA 看護師達に教えること、

新しい環境（病院）に適応することが我々（EPA）の仕事であること

- ・言葉の障壁、組織、仕事と生活のバランスを考えること
- ・日本語でのコミュニケーションは非常に難しい、特に医師からの指示を受ける時医師が英語を話せるといいのと思う
- ・3年間看護師として働いてさえまだ日本語でのコミュニケーションや読み、書きが難しい
- ・2009年日本に着いて6か月日本語を学び、働き始めたが、人々が言っていることをほとんど理解できなかった、コミュニケーションの時はつらい時間だった、今でもまだ日本語を書くこと話すことがうまくいかない
- ・①カルテに書かれた医師の手書き、他のスタッフの書いたものが読みづらいことがある、②自分の限られた日本語で他の人に自分自身を十分に表現できない
- ・仕事の方法としては問題ないが、先輩とコミュニケーションすることが難しい時がある、外国人を信用しない患者がいると感じている
- ・日本語、それがすべてを難しくさせる
- ・日本で働くということはたやすいことではない、毎日厳しく困難である、まず言葉である。日本語で話し、読み、書かなければならない、話すことでは検査の結果について患者に説明する専門用語などが難しい。記録や報告のような書くことは最初の1年間は非常な重圧でしたが慣れてくれば興味が持てる、私は書くことは話すことより習得やすいのではないかと思う、というのは今までどころ発表が大変なので
- ・患者さんがお亡くなりになること
- ・言葉がまだ私たちにとって一番の問題である。私にとって手順を記憶するのに時間がかかる。なぜなら漢字での医学用語は非常に難しいので、話す速度が速いので、電話で指示を伝えたり、医師へ情報を伝えることはとても難しい、しかし大分進歩してきている、ストレスやプレッシャーが実に大きい。先輩看護師の一人も私を別扱いする。彼は医師や他のスタッフの面前で私を叱り、侮辱し、困らせた。彼の言葉は本当に私を傷つけ、彼の行為はプロとしてあるまじき行為であり、私たちフィリピン人に敬意を払っていなかった、ある時彼は怒ってどなり、私に仕事を辞めすぐフィリピンに帰れと言ったが、私は冷静だった、彼はベテラン看護師である、私は彼を尊敬している、彼にもう二度と同じことをしてほしくないと思う、これは私たちがここで経験した一つのことにすぎない
- ・言語の障壁に打ち勝つことは容易ではない、彼らの仕事の倫理は私の常識とは全く違っている、彼らはあまりに真面目である、仕事は楽しい方法でなされなければならない、それでたとえ仕事は難しくても簡単であるかのようになされるべきであろう、がこの姿勢は誤解され本気で仕事に取り組まない人と見られるであろう
- ・コミュニケーション
- ・①筆跡が良くない医師がいる、その指示を読むのがむずかしい、②まだ私の理解できない日本語の語彙がたくさんある。

問5 日本語について

問5-1 あなたは、国家試験合格後、どのような方法で、何時間、日本語の勉強をしていますか。

(インドネシア人)

- ・ 実際日本語の勉強をする時間がない、多分それをするのは難しい、仕事後は疲れていて勉強する気にならない
- ・ 最低毎週土曜日、10時から16時まで
- ・ 毎日1時間の自習
- ・ インターネットにより日本語能力検定試験（JLPT）に合格できるよう準備している
- ・ めったにしない
- ・ 日本語を週一度3～4時間ボランティアの先生と学んでいる、日本語へのゴール目指して、たとえば来冬N1の試験を受けるつもりです
- ・ 日本人といつもコミュニケーションを取ること、
- ・ 試験合格後、特にはありません、仕事をしながらでも勉強になります、分らないことは辞書をひいたり、友人や他のスタッフに聞いたりします。毎週火曜19時から21時、他の外国人と一緒に市の行っている日本語と文化の勉強会に参加しています。TVを見たり、日本語のカラオケもします。
- ・ 今、日本語は勉強していません。日本語は本当に勉強したいですが、仕事から帰ると疲れてしまい、やらねばならない仕事に関連したことが、しばしばあります
- ・ ①自習 ②ボランティアの先生と ③インターネットを使って
- ・ テレビを見たり、本を読んだり、日本語の勉強会に参加する、1日は1から2時間くらい
- ・ 勉強していません
- ・ 約3年間毎週3時間
- ・ 自分で勉強しているが最近あまりしていません
- ・ その日による、あまり忙しくない日か早く家に帰ったときは1～2時間勉強できるが時々できないことがある、
- ・ 試験合格後日本語は勉強していません、常にコミュニケーションを取るように努めています
- ・ 1か月
- ・ 自宅で自習、日本語の看護の本を読んだり、新聞を読んだり、TVを見たり、漢字を書いたりです、2～3時間です。
- ・ 時々休日に文法の本を読み勉強しているが今は仕事で疲れるため勉強する時間を調整できない、テレビを見ることで語彙を学ぶ
- ・ 週1回3時間、週1回スカイプで1時間
- ・ 日本語能力試験N1の本を買って勉強していますが、なかなかすすまないです
- ・ 最初の国家試験合格後にボランティアと一緒に日本語を勉強しようと思った、しかし、看護師の仕事が忙しい、積極的な参加が出来ていない
- ・ 1か月
- ・ 日本語特に看護記録を書くことを2か月学んだ
- ・ たまに休みの日に文法の本をよんでいる、仕事が忙しく勉強の時間がとれない、テレビを見て語彙を勉強している

(フィリピン人)

- ・ ニュースを見る、仕事に関する資料を読む

- ・日本の看護の本、資料を勉強 3年、日本語 9か月（2010年5月～2011年3月）
- ・日本語でニュースをよむ、日本のテレビをみる
- ・合格後は自身で漢字を書くことを勉強するが大部分の時間勉強できない
- ・日本の国家試験合格後毎日務めるであろう手術に関する項目を勉強し始めた、日本語の歌やテレビを見ることによって聞く能力を練習している
- ・N2の勉強の本を買ったがめったに開かない
- ・今年8月から日本語のレッスンを始めた、専門の教師に1週間に1度2時間勉強を指導してもらっている
- ・めったにしない
- ・アニメやテレビを日本語で見る。時々本を読む
- ・勉強していない
- ・国家試験に合格して以来ニュースやドラマなどのテレビ番組を見て日本語を勉強している
- ・まだ学ぶべきことは多くあり、日本語能力を向上させたいと思うが、仕事に集中せねばならず、合格以来あまりやっていないが、読む努力はしている
- ・勉強していない、同僚や患者とのコミュニケーションを通して勉強している程度である
- ・試験合格後勉強することをやめている。しかし毎日仕事で医師、同僚、患者から多く学んでいる

問5-2 あなたは「話す」、「読む」、「聞く」、「書く」のうちどの能力をもっと向上させたいと思っていますか。

(インドネシア人)

- ・話す、読む、聞く、書くすべて：12名
- ・話す、読む、聞く：1名
- ・話す、聞く：1名
- ・話す、書く：1名
- ・話す：3名
- ・聞く：1名
- ・書く：4名

これを集計すると下記のようなになる。

話す 18名
 書く 16名
 聞く 15名
 読む 13名

(フィリピン人)

- ・話す、読む、聞く、書く：5名
- ・話す、聞く、書く：2名
- ・話す、書く：6名

- ・話す、聞く：1名
- ・話す：1名
- ・書く：1名

これを集計すると下記のようなになる。

- 話す 9名
- 書く 8名
- 聞く 7名
- 読む 5名

問6 将来の計画（夢）は何ですか。

（インドネシア人）

- ・日本の会社か日本政府に関連した NPO で働くこと
- ・特別な夢は無いけど、看護師としての仕事が上手くいき、患者の介護にでき、家族が健康であること。
- ・看護学の先生になり、私の会得した学問や経験を教えること。
- ・日本で働けることは最良の経験である。日本語能力試験に合格するまで勉強したい。ゴールはテストに合格することである。もし合格すれば現在の仕事をやめ、日本の企業で働きたい
- ・透析の専門看護師になること
- ・周りの人の為に役に立つ人間になること
- ・沢山あります。先ず第一は仕事、優秀な看護師になり家族や他の人達のために役立つ学問を身につけること。
- ・内視鏡の免許をとること
- ・日本での仕事が長くできることと、日本社会から仕事を認められること
- ・看護師として
 - ① 日本かインドネシアでS1看護学(4年)、S2看護学(2年)の講義を続けること、
 - ② 看護学部の教授になること
 - ③ 看護師実習所を開業すること
- ・日本に住んで看護の仕事をやりたい
- ・チームリーダー
- ・まだ考えていません、よく考えてみます
- ・訪問看護、通訳
- ・家族を持ち働きたい
- ・看護師をしながら経営者になりたい
- ・しばらくは元気いっぱい日本で仕事をしたい
- ・結婚しているので良い看護師でありたい。生活の中で看護師として妻としてバランスをとっていききたい
- ・畑が欲しい、農業をしたい

- ・帰国後大学に行きたい
- ・看護大学院に入学してインドネシアで教員として働きたいです
- ・インドネシアに帰国したら、日本の会社で働きたい（例えば通訳として）

(フィリピン人)

- ・特になし、現在は働いてここで自分の時間を楽しみたい
- ・当地へ家族を連れてくる、夜のシフトができるようになること
- ・よい伴侶を持つこと、仕事で成功者になること
- ・看護学の修士課程で勉強、経験したい
- ・有能な看護師になりたい
- ・日本に家族を連れてくること、②兄弟、姉妹に日本で仕事をみつけてあげること
- ・国に帰り家族と暮らしたい
- ・世界中でボランティアの仕事をしたい
- ・学んだことを他のフィリピン人 EPA の人達に教えたい
- ・チームリーダー
- ・個人的、家族の理由によって2015年5月にビザが終わる前に仕事を辞めようと思っている、すでに看護師長に伝えた、もし可能ならばフィリピンに1~2か月滞在した後に再出願したい、夢の一つは東京か東京近辺で仕事をし家族とともに生活することである、国際厚生事業団が援助してほしい
- ・時々もっと勉強しようかと考えるが、しかし今は、今を楽しみやるべきことにベストをつくしている
- ・日本で働いて後フィリピンへ帰り家族と生活すること。
- ・看護の修士課程に進み臨床看護師になりたい
- ・記入なし

問7 日本や日本人についてあなたが感じていることを教えてください。

問7-1 日本や日本人について好きなこと気に入っていることは何ですか。

(インドネシア人)

- ・時間を守ること
- ・日本の食べ物と観光地。
- ・多くの日本人は礼儀正しく、規則を守り他人を尊重し仕事に強く、周囲に気を使う、計画性があり責任感が強い。
- ・日本文化が好きになった。日本食も。交通：電車もバスも時刻通り運行、チップの制度がないのにモチベーションが高い、丁寧で、細かいことに気を配り完璧をめざす。インターネット接続はすばらしい、日本人は礼儀正しい、いつも‘すみません’という。
- ・チームで仕事すること
- ・常に助け合う、時間に正確、勤勉、上下関係であまり形式ばらない、いっしょに働く時、非常に協力的
- ・日本人は性格が規律正しく活力があるのが好き、日本は技術や経済を考慮すると先進国で

あり、ここで頑張れる

- ・日本人は規則を守り時間に正確で将来に対して計画的、他人や外人に対してとても親しげで周囲にも非常に親切、非常に教養があり仕事熱心、先祖の文化や遺産を守り評価している、責任感が非常に強い
- ・①日本は美しい（社会、文化、人間）、清潔、②がんばりやさん、③規律正しい、④他人や外国人に対して非常に寛容
- ・勤勉、優しい、丁寧
- ・親切なところ
- ・親切で助け合う気持ち強い、規則を守る、年寄りや目上の人を大切にする。
- ・日本は住みやすい国
- ・時間に厳格、規律を守る、仕事熱心
- ・日本人の仕事に対する態度が好きです
- ・規律正しい
- ・規律正しく時間に正確で仕事に熱心
- ・外国の文化を理解することは私にはとても興味深い。日本の多くの美しい場所また日本の建築物が好き。それに日本の手工芸品は大変美しい
- ・交通手段が整備されている。交通が便利。-観光地が魅力的。
- ・好きなことはたくさんあります、書ききれないです、日本の環境がとてもいいです、美しいところがたくさんあります。
- ・日本人はきびしいけれども優しい。日本は便利、生活しやすい。本当に長時間に日本に住みたいけど、家族の事が大事と思うから帰国しないといけない。

(フィリピン人)

- ・たくさんある、人々は素晴らしいし尊敬できる。食べ物は美味しい
- ・仕事に対する姿勢、今まで仕事をして中で最高の看護師達と一緒にということ
- ・正直、敬意、忠誠、毅然とした態度
- ・日本人は親切でやさしい、仕事で一体感がある、互いによく連絡する、どこに行っても安全だし交通機関は便利
- ・きちんとしている、特に仕事において
- ・日本人の一致団結、協力、親切、互助などの精神が好きだ
- ・親切で正直、時間に厳格
- ・丁寧さ、礼儀正しい、日本人は感謝することを忘れない
- ・正直でいつも他の人に何かをしてあげようという態度
- ・食物、着物、お祭り、気候
- ・親切なところ
- ・日本は非常に安全で清潔である
- ・非常に安全な国、交通網もすばらしい、また日本人のまじめな態度が好き
- ・季節特に秋、娯楽：アニメ
- ・食事計画

問7-2 日本や日本人について嫌なこと、なおして欲しいことは何ですか。

(インドネシア人)

- ・答えは状況による、質問はどのような状況のことかわからないので答えられない
- ・人間関係が閉鎖的
- ・温泉で人の前で裸になる、・・・(以下判読できず)
- ・多くの日本人が持っている閉鎖的な態度は、理解するのに私を困難にさせる
- ・ちょっと言えない
- ・今まで不満はありません、望みとしては、仕事も人間関係も今のままでいてほしい
- ・話し相手の欠点をはっきり言わない
- ・①近所の関係が良くない(コミュニケーションが無い)、②他の国と比較して優越感を持っていると感じる、③人の悪口をよく言う
- ・冷たいところ
- ・働き過ぎ(夜まで仕事)
- ・他人に気をつかうのはいいですが、気を遣われすぎるとつらいです、質問されてもはっきり答えられないこと
- ・我々が心を開いても時々たいそう冷たいし時々外国人を見下す、要領を得ずいつもぐるぐると話す、彼らが何を望んでいるかを理解するのが私には難しい
- ・内向的な人が多い。
- ・仕事後の付き合い
- ・理解するのが難しいことをしゃべる
- ・怒るとなにかある時は人の前ではなくて、もすこしゆっくりはなし、2人で話し方がいいと思います
- ・なし(3名)
- ・無記入(2名)
- ・判読不能 1

(フィリピン人)

- ・すべては日本語にある。
- ・ものを言う時言葉の選択がむずかしい
- ・仕事についての考え方
- ・日本の人々は英語を第二外国語として使えるようにした方がいい、だが私は日本のすべてが好きである。
- ・短い休暇しか取れないこと
- ・あらゆる面で細かい
- ・仕事しすぎである、家庭より仕事優先
- ・緊張を要する生活の中で働きすぎ
- ・或ることについて非常に几帳面である

- ・あることにこだわりがとても強い
- ・先輩、後輩の関係は最も苦手である、先輩と後輩の間には大きな差があり、いじめがある
- ・特に仕事に関してまじめすぎる、外国人とくにフィリピン人を冷たく見下すことがある、物価が高い
- ・ない
- ・記入なし（2名）

問7-3 あと何年日本で看護師として働く予定ですか。

（インドネシア人）

- ・あと何年日本で仕事ができるのかまだ分っていません。日本が私の事を役に立つと考えている間は日本で仕事がしたい
- ・母国は恋しいが日本も好きだ、しかし日本に長く滞在する強い理由もない、しかしながら、日本で働くことはとても楽しい
- ・今はまだ決めていませんが、出来る限り長く日本で働きたい（2名）
- ・日本での仕事を受け入れてくれる限り、ずっと日本で働きたい、インドネシアに帰る予定はまだありません。
- ・日本で chance があれば仕事を続けたい、いつまでも制限ない
- ・今のところ、まだ考えていません、今ここでの仕事を楽しんでいる（4名）
- ・日本に滞在したいがどのくらいかはわからない。
- ・まだ決めてない（6名）
- ・無記入
- ・1年です
- ・3年
- ・来年インドネシアに帰国したい

（フィリピン人）

- ・今は40歳になるまでと考えているがもっと長くとも考えている
- ・できるだけ長く働く
- ・家族と私は子供たちが簡単に日本の学校で学ぶことができる限りここ日本で働く決めた
- ・ここで働くのを許される限り。
- ・今現在わからない、夫がともにいないから、が、私は長い間日本にいて働きたい。
- ・できる限り長く、多分65歳まで
- ・もし東京か東京近辺で働く機会が与えられれば10年かそれ以上働くつもりである。
- ・はっきりしない、誰か雇ってくれればできるだけながく、私は特に仕事をえり好みしない
- ・故郷にもどりまた帰ってくるつもり
- ・まだわからないが幸せである限りたいざいしたい
- ・正確に言えない、まだわからない（4名）
- ・3～5年

問8 何かコメントしたいことがあればどうぞ

(インドネシア人)

- ・もし、合格後の看護師の訓練や、容易に参加できる日本語の訓練（インターネットを使ってもよい）があれば、本当にありがたい
- ・もし私の仕事場、私の勤めている病院で日本語の勉強ができれば最高、試験に合格した看護師の集会があればどうですか
- ・ありません
- ・私にはあまり能力がないがよい看護師になりたいので、周りの人に助けてもらいたい
- ・ビザの期間をもっと長くして欲しい（たった3年だけでなく、3年以上に）
- ・看護師候補者の支援がだんだんよくなってきました、ありがとうございます、国家試験合格者にも支援があれば大変うれしいです。これからもよろしく願います
- ・なし（5名）
- ・記述なし（9名）

(フィリピン人)

- ・EPAの看護師を採用する際、面接のとき「あなたは日本語や国家試験の勉強を頑張っている気がありますか」と質問することが重要である、残念ながら大部分は勉強したいと思っていないのですから
- ・ありがとうございます
- ・できれば日本語も、看護ももっと勉強したい
- ・JICWELSが有資格の外国人看護師や看護師候補者が従うべき制度に関するガイドラインを作るとよいと思う、それは仕事の種類、仕事の範囲、制限、例外を含むべきである、簡単な仕事からはじめ徐々にむずかしい仕事へ、たとえば手術室では循環系の主看護師業務をする前に手洗いをするこにだけに集中させる、なぜなら国家試験に合格したとしても我々は通常の日本人看護師ができるすべてのことをできるわけではない、我々が仕事に習熟するには言葉の問題が時間がかかるかもしれないが、いったん習熟すれば、すべてうまくやれると思う。私は大変ストレスの高い状態にありできることは限られているのにもかかわらず、同じ看護師であり、同じ給料をもらっているのだから日本人看護師と同じように仕事するよう常に言われている。
- ・すでに合格した人の支援は大きな助けであり、非常に感謝されるでしょう。
- ・とくになし（2名）
- ・記入なし（8名）

Ⅲ 調査総評

回答者率は41%であった。その内訳をみると、第100回及び第101回合格者の回答率は約56%であったが、第102回合格者（約21%）及び第103回合格者（約36%）でやや低率であったことは残念である。来年度の課題としてとらえている。

本年度の調査では新たに現在勤務している部門（科）と仕事内容について設問した（問2）。かたよりになく、様々な部門で働いているようである。

日本で看護師として働くことにそれぞれ満足しているが、「日本語」力の不足に悩まされている現状も切々と語られている。日本ではふつうである「人前での叱責」はインドネシア人やフィリピン人にとって、著しく傷つけられる行為として禁忌であることを我々は知らねばならない。さらに最も心が痛んだ回答は、怒りをぶっつける際、見下すような発言をしたり、「自国に帰れ」などの罵詈雑言を発する先輩看護師がいることである。人手不足を補うために外国人の手を借りなければならない日本社会がすでに到来している。外国人と共存して幸福な日本社会を築くために、外国人に日本社会や文化を理解していただくだけでなく、我々日本人もまた外国人への理解を深める必要があることを心に刻みたい。この報告書を外国人の声を聴く機会として熟読いただければ幸いである。

IV 謝辞

回答者の皆様には、記述式のアンケートに丁寧にお答えいただきましたことに対し心よりお礼を申し上げます。さらに、看護部長、EPA 担当者など病院の皆様からいただきましたご協力に厚くお礼を申し上げます。

回答の翻訳にご助力いただきました外国人看護師の方々に心よりお礼を申し上げます。